

新入職員紹介

4階病棟・看護師



いぬい みりな
乾 美里菜

この春、京都市内の看護学校を卒業し京都協立病院に就職しました。至らない点も多いかと思いますが、患者さんの立場に立った看護を大切にし、精一杯頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。



ひらの みみ
平野 真未

初めまして。4階病棟に新人看護師として働くことになりました。昔からの夢が叶い、期待と不安でいっぱいです。綾部は初めてくる場所なのでまだ慣れませんが、みなさんと関わらせていただく中で、社会人として人として看護師として成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



すみた あや
住田 亜耶

はじめまして。4月から4階病棟で働くことになりました。実習に来た時、温かい人が多い土地柄のここです。でなら頑張ってゆけると思い希望しました。一日も早く信頼される看護師になれるよう努力したいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



なかむら なつき
中村 菜月

はじめまして、4月から4階病棟で働くことになりました。綾部の四季折々豊かな自然や人柄に惹かれて越してきました。まだ慣れず、右も左もわからない新参者ですが、これからどうぞよろしくお願い致します。



むらかみ しょうこ
村上 翔子

幼い頃から夢であった看護師という職業につけることをとても嬉しく思い誇りに思っています。地元綾部

の京都協立病院で、のびのびと働き、先輩たちのように立派なナースに成長し、良い病院づくりに貢献していきたいよう努めていきたいと思っています。

リハビリ課・理学療法士



いしばし はじめ
石橋 創

はじめまして、理学療法士の石橋創です。私はこれまで車をつくる仕事に携わってきましたが、直接人の役に立つ仕事がしたい“と思いPTになりました。これから関わる患者様に対し、よりよい医療を提供できるよう初心を忘れず頑張っていきたいです。皆様どうぞよろしくお願い致します。



にしざわ まい
西澤 真衣

はじめまして。今年度より京都協立病院でお世話になります、理学療法士の西澤真衣です。社会人1年目のため、みなさんにご迷惑をおかけすることもありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

「おしゃれ」して 笑顔いっぱい

3階行事・レクリーム 大塚 香奈子

3階療養型病棟では、患者様に少しでも楽しく、潤いある日常生活を送って頂くために、行事・レクリエーションチームを立ち上げ、ボランティアさんにも協力して頂きながら、日々のレクリエーション、年4回の行事を企画運営しています。

今回2月に行った「おしゃれ会」は3回目となり、今回は患者様ご家族様のご協力により、普段なかなか身に付けることのないものでおしゃれをすることで、患者様の素敵な笑顔を伺えることが出来ました。



連載No.4

家庭医療紹介

家族志向のケア②

診療に家族のライフ サイクルを取り入れる

内科医長 玉木千里

人はみな家族を持ち、考え方や価値観、そして行動に至まで家族メンバーから少なからぬ影響を受けているものです。そして、家族は人の健康にも影響することが知られています。

家庭医は、患者さんが医学的にすつきり説明のできないような症状をお持ちの時、あるいは診断がついて治療を行っていてもなかなか良くなら

ないような時は、家族ライフサイクル（左図参照）に変化が起きているかに注目します。

この家族のライフサイクルに目を向けることで病気をより良く理解できるだけでなく、問題を解決するための糸口が見つかることがあります。

患者さんが今どのライフサイクルにいるかを理解することで患者さんの置かれている状況をよりリアルにイメージ化し、家族の力関係や家族の抱える問題に目を向け、治療に家族を引き込んで役割を持つていただけるように手をつくすことが家庭医の役割というわけです。

（参考…「家族志向のプライマリケア」・シュプリンガーファークラック東京）

家族のライフスタイル	発 達 課 題
結 婚 期	●お互いに対して責任を持つような関係を築く ●新たな配偶者が加わるため、家族内の関係を再構築する
妊 娠 ・ 産 期	●家族内に子どものための空間を作る ●お互いに配偶者でありながら、親になっていく
育 児 期	●両親としてのチームを作る ●家族内で親や祖父母としての役割を確立していくために、お互いの関係について話し合う
巣立ち期	●密接な親子関係から脱して、子どもが出たり入ったりできるシステムへ移っていく (子世代) ●家族から自分自身を独立させる ●仲間との親密な関係を結ぶ ●職業において自己を確立させる (親世代) ●夫婦間の問題と仕事上の問題へ再び目を向ける ●祖父母の病気・障害や死に対応する ●自分自身の老いと近づく死に対応する
老 年 期	●身体が老いていく中で機能を維持する ●配偶者・兄弟・友人の死に対応する ●自分自身の死の準備をする

悩むくらいならすぐに受診してください

ジオン注射をうけたほとんどの患者さんからうれしい知らせが届いています。Oさんのように『痛みなく治療をうけて今までの悩みはなんだったのか』という方、『半日入院で治療してもらった。翌日から運動ができた』という方など今までの痔の手術と比較すると肛門科医の私にとっても画期的な治療といえます。

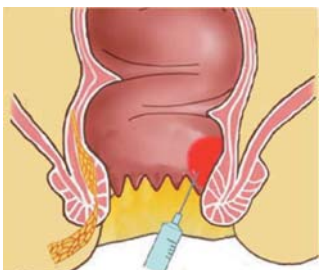
10年20年の悩みが半日入院ですむのなら、しかも痛みで苦しむことがないのなら、さらに費用が2万円前後で済むのならこんなうまい話はありません。疑い深い人は一度、京都協立病院肛門外来を受診してください。相談だけでも良いですよ!!遠慮なくおこしください。お待ちしております。

川島市郎の外科外来は月曜日の夜診、火・木・金曜日の午前診になっ



副院長・肛門科 川島市郎

ています。詳しくは病院窓口にお問い合わせてください。



※注射療法（ALTA療法・ジオン注射）は、特定の講習を受けた医師のみ治療ができます。

『ジオン手術』体験された方

（福知山在住のOさん・60歳代女性）より

私は長い間、痔に悩んでいました。義母の介護をしながら毎日気分が悪い日が続いていました。これでは義母の世話も出来ない、早くなんとかしなければ。恥ずかしいな...など言っていたら、と思い川島先生に受診したところ、「数日後に手術しましょう」とのこと。義母をショートステイにあずけて入院しました。

手術は『ジオン注射』という方法で、まだ数年前に新しく出来た手術方法との説明でした。手術は話をしながら痛みもなく1時間もかからず終わりました。次の日は退院、そして痛みのない快便です。これは夢のようでした。

もうすぐ1年がこうとしています。術前よりも心も体も健康になり、トイレに入って「5分以内」を心がけている毎日です。